

## 令和2年度第5回「知事と一緒に生き生きトーク」発言要旨

- 1 テーマ：スポーツで岡山県を元気に！～地域活性化に向けたスポーツの力～
- 2 日時：令和3年2月18日（木）13：30～14：55
- 3 場所：ジップアリーナ岡山（岡山市北区いずみ町2-1-3）
- 4 参加者：県内トップクラブチームや、スポーツを通じた地域づくりに携わる方など6名

### 5 知事挨拶

スポーツを通じて岡山を盛り上げている皆さんから、スポーツを通じた地域づくりの可能性、スポーツで地域を元気にするアイデア、将来展望などをお聞きたい。

### 6 発言内容等

#### 【自己紹介・活動など】

- ・岡山シーガルズに所属していた現役時代は、バレーボール教室などで子どもたちとふれあった。現役引退後は、大学で仕事をする傍ら、バレーボールを普及するための県内イベントや講演活動を行っている。
- ・東京で就職し不動産関係の業務に従事した後、3年前にスポーツビジネスの世界に転身した。ファジアーノ岡山の「子ども達に夢を」という理念に共感して、岡山へ移住してきた。
- ・岡山県出身、大学進学を機に10年ほど東京で暮らしていたが、バスケットを通じて地元岡山を盛り上げたいという思いから、トライフープ岡山の立ち上げスタッフとして岡山に戻った。
- ・作陽高校女子サッカー部の監督として1月の選手権で準優勝した。現在、作陽高校の下部組織ソルフィオーレというクラブチームを立ち上げている。来年は、くらしき作陽大学にも女子サッカーチームを立ち上げたいと考えている。
- ・岡山県出身、1980年モスクワ五輪の陸上男子400メートル障害の代表に選ばれたが、日本政府がボイコットしたため、出場できなかった経験をもつ。現役引退後は、教員や、行政職員経験を経て、現在は県スポーツ協会事務局職員をしている。
- ・大学の教育学部でスポーツマネジメントについて教鞭を執り、行政関係の審議会委員なども務めている。

#### 【スポーツの持つ力、可能性など】

- ・スポーツでは、体力、技術の向上だけでなく人間力を養うことができる。また自分自身の成長だけでなく、チームのメンバーを思いやったり、牽引したりと、お互いに刺激し合って高めていける面もある。
- ・スポーツは、競技している人だけでなく、見ている人にも一体感や興奮、夢を与えてくれる。応援するチームの試合では、街全体が一体となり、知らな

い人同士でも一緒に喜べる。

- ・大規模災害後の困難な状況下での代表チームや地元チームの奮闘が、人々に勇気や希望を与えた。スポーツは応援する人に感動を与える。
- ・おかやまマラソンではランナーをはじめ、サポーターやボランティア、沿道の応援など、大勢の人が一体となって進めているところに感動を覚えた。大会が終わった後も、街にはジョギングをする人が増えたように思う。運動機運の向上にも繋がっている。
- ・スポーツの持つ、感動を与える、人格形成に繋がるといった内面に与える価値も大切だが、産業界や社会課題の解決にスポーツをどう繋げられるかといった、多分野との連携の視点を持つことも大切である。

### 【スポーツで地域を元気にするアイデア、課題解決のための提言】

- ・岡山県は他県と比べ、県民が利用できるスポーツ施設の数が少ない。トップクラブチームが次々と誕生する中、県民の「みる」環境は整いつつあるが、「する」環境を整えていく必要がある。
- ・多くの人にスポーツに関心をもってもらうため、地元企業とコラボしたグッズを作成するなど、工夫した取組を続けていきたい。
- ・有料施設の整備も必要だが、街中に誰でも気軽に利用できる無料設備、例えば、バスケットゴールやテニスの壁打ちなどのちょっとしたスペースを設けることで、もっとスポーツが身近になるのではないかな。
- ・指導者の育成が課題だが、女性の数は男性に比べ顕著に少ない。女性指導者を育てる環境整備が必要である。
- ・県内企業からスポーツ分野への投資を呼び込むために、チームと企業をマッチングさせる仕組みがあるとよい。例えば、子育て支援をがんばっている企業からシーガルズのバレーボール教室に何か投資を呼び込むとか、バスケットゴールを設置した地面に発電するプレートを置いて照明を点灯させるなど。女性の指導者が少ないというジェンダーギャップの問題は企業でも抱えており、企業とスポーツチームをマッチングさせることで一緒に解決策を考えることができる。
- ・選手に引退後のセカンドキャリアを示すことで、クラブに優秀な人材が集まり、結果的に強いチームが作れる。プロ活動を引退した後も、岡山で暮らしていけるようなバックアップが必要である。例えば、シーズンオフに選手が企業にインターンシップに行くのも一つのアイデアである。

## 7 知事まとめ

- ・スポーツで地域を盛り上げていくには、様々な施策を工夫しながら進めていくことが大切である。
- ・県としても各種取組を進めていきたい。